

## 2年後の就農へ秋田市新規就農研修が開始

4月4日(月)、令和4年度秋田市新規就農研修開講式が秋田市園芸振興センターで開かれました。今年度から8期生の3名が、令和6年の就農に向けて2年間の研修に挑みます。8期生は研修生活を前に、就農への決意を新たにしました。

秋田市飯島の畠山斐斗さんは「小さな頃から農業をしたいと思っており、帰郷や転職を機に就農を決めた。就農後に栽培する品目や技術など、2年間で様々なことを学んで身に付けたい」と意気込みました。

平成27年から始まった同研修では、これまでに32名が修了しました。現在は来年の就農を目指す7期生の9名も含め、12名が研修に励んでいます。



研修生活や新規就農への激励を受ける研修生

## (一社)耕壤会種子生産組合の生産者が入賞

秋田市上新城の(一社)耕壤会種子生産組合の3名が、「第30回秋田県優良水稲種子生産共励会」で入賞しました。圃場や種子の審査を経て、生産技術や品質の高さが評価されました。

同生産組合の渡辺良雄会長は「日頃の高品質な種子の生産に向けた努力が認められた。受賞の喜びに甘んじず、さらに品質のいい種子の生産に一同で取り組んでいきたい」と話しました。

受賞者は以下の通りです。(敬称略、カッコ内は種子の品種名)

▽優秀賞、秋田県主要農作物種子生産者協議会会長賞Ⅱ中嶋勇夫(サキホコシ)▽奨励賞Ⅱ佐藤俊和(めんこいな)、三浦政雄(あきたこまち)



高品質な種子の生産に励む(一社)耕壤会種子生産組合

## NEWS & TOPICS

## 市長・先進農家らを表敬訪問

4月13日(水)、佐藤広美組合長ら役員が、潟上市の鈴木雄大市長を表敬訪問しました。令和3年産の米価への助成や地域の農業振興などをはじめ、ふるさと納税を活用した市民への支援など、多岐にわたって意見を交わしました。14日(木)は穂積志秋田市長を表敬訪問し、米の在庫状況や地場産品のPR、トップセールスなどの話題が上りました。

13日(水)には管内で先進技術などを活用する生産者を視察し、男鹿市角間崎で黒毛和牛を肥育する(農)大進農場で令和2年に新築した牛舎を見学しました。同農場では、ミストや24時間体制の監視カメラなどを使い、牛が極力ストレスを感じない環境づくりに取り組んでいます。

同市五里合の大將梨園では、V字ジョイント仕立ての園地を視察しました。V字ジョイント仕立ては主枝を低い位置で仕立てて側枝を同じ角度に伸ばすことで、直線的に作業を行うことができ、農作業の効率を向上させる技術です。視察した役員は先進技術の効果や導入経緯を生産者から聞き、理解を深めました。



2



3



4



1

- 1 鈴木潟上市長と意見を交わす佐藤組合長ら
- 2 旬の秋田市産イチゴを味わっていただきました
- 3 牛にストレスを与えない環境づくりに励む(農)大進農場
- 4 V字に枝を仕立てる大將梨園の園地

